

2021.5.19

ISO/TC 194 国内委員会

WG2 活動報告

文責・京セラ 吉原

1) WG2 の現状報告（12 月開催の CAG meeting の minutes より抜粋）

WG2 Scott McNamee 見解

ISO10993-9（潜在的な分解生成物の定性および定量化の枠組み）と ISO10993-15（金属及び合金からの分解生成物の定性および定量化）は 2019 年の改訂後に既にパブリッシュ済み。

ISO10993-14 (2001)（セラミックスからの分解生成物の定性および定量化）の改訂作業は未着手。

今後、セラミックスの分野の専門家を募集するとともに、ISO10993-14 の改訂に関する NP を開始する予定

2) TC106（歯科全般）活動状況

◆第 57 回年次会議（8 月予定、ホスト国：米国）の Web 開催が決定（2 年連続）

昨年は Web 会議でデンタルインプラント関連会議に参加

主に強度試験方法の新規提案内容の審議や新 WG の設置に関する議論が実施された。

詳細は割愛

◆メールによる新規規格提案に対する業務

- ・デンタルインプラントの機械的評価方法の新条件提案に対するコメントの作成と提出など

◆連絡事項

- ・WG3（申請用技術資料の内容）並びに WG4（メカニカルテスト）のエキスパート交代 6/1 付けで吉原から弊社後任に上記 WG のエキスパートを引継ぎ、SC8 から脱退予定尚、TC106/WG10（歯科用医療機器全般の生物学的評価）のメンバーは継続
本 TC194 とのリエゾン役も継続

以上